

8月10日(木)から、いよいよSL「大樹」が鬼怒川線で運転開始！

SL「大樹」の車内では、SL観光アテンダントが地域の魅力を発信！
～手作りの観光案内やグルメ情報などお客さまを「おもてなし」します～

東武鉄道株式会社

東武鉄道（本社：東京都墨田区）では、日光・鬼怒川地区におけるSL「大樹」（C11形207号機）の2017年8月10日（木）運転開始に向けて準備を進めていますが、SLの車内では、乗務するSL観光アテンダントが手作りの観光案内やグルメ情報などで、地域の魅力を発信します。

SL「大樹」には、日光市観光協会に業務を委託して、地元日光市在住のスタッフを中心に、SLの客車1両に1名のSL観光アテンダントが乗務し、お客さまのお出迎え・お見送りに加え、SL観光アテンダントそれぞれの個性を活かした「おもてなし」でお客さまの旅を盛り上げます。SL観光アテンダントが日光市内を見てまわりながら企画した各種案内物を中心に、楽しさの伝わる観光PRを実施したり、日光市内のグルメを、お客さまの好みに応じてご提案するなど、各客車でSL観光アテンダントが「地域の魅力」を伝え、お客さまと地域を結ぶ役割を担っていきます。

また、SL「大樹」では、2017年8月10日（木）の運転開始日より、各列車（SL「大樹」1号～6号）に乗りいただいた「証」として、SL観光アテンダントが列車ごとに異なる「SL「大樹」3D記念乗車証」を車内で配付します。

さらに、2017年8月10日（木）～2018年8月9日（木）の期間には、SL「大樹」の運転開始を記念し、異なるSL列車（SL「大樹」1号～6号）の記念乗車証を集める「SL「大樹」完全乗車キャンペーン」を実施し、異なる記念乗車証を複数集めていただくと、枚数に応じてSL「大樹」のオリジナルグッズをプレゼントします。これは同SLが運転日に東武鬼怒川線 下今市駅～鬼怒川温泉駅を1日3往復することから、それぞれの時間帯ごとに異なる日光の山並みや沿線の風景を楽しんでいただくことを目的としています。

この他、SL「大樹」の車内では、オリジナルグッズやアイス等の販売を行います。また、SL「大樹」の車内での思い出を記念にさせていただけるよう、専門のカメラマンによる記念写真撮影販売を行います。

SL「大樹」の車内以外でも、下今市駅構内には、SLを間近で見学できる「転車台広場」や、東武線にゆかりのあるSLの写真のほか、SLの動く仕組みをわかりやすくイラスト等で紹介している「SL展示館」を7月23日（日）にオープンします。また、7月15日（土）には下今市駅のホームに昭和レトロ感のある売店がオープンし、駅弁等を販売しています。SL「大樹」への乗車はもちろん、乗車前後もワクワク楽しんでもらえるよう、様々な魅力でお客さまをお迎えします。東武鉄道で約半世紀ぶりに復活するSLへ、ぜひご乗車ください。詳細は別紙のとおりです。



△SL「大樹」



△SL観光アテンダント

1 SL観光アテンダントについて

SL観光アテンダントは、日光市観光協会に業務を委託して、地元日光市在住のスタッフを中心に、SL「大樹」の客車1両に1名が乗務し、お客さまのお出迎え・お見送りに加え、SL観光アテンダントそれぞれの個性を活かした「おもてなし」を行います。SL復活運転の目的の一つである「日光・鬼怒川地区の活性化」を実現していくには、それに携わる一人ひとりの手による地域の魅力発信がその源泉であると考え、新鮮でこだわりのある情報をお届けしていきます。SL観光アテンダントのそれぞれの個性を活かした取り組みとして、SL観光アテンダントが日光市内を見てまわりながら企画した各種案内物を中心に、楽しさの伝わる観光PRを実施したり、日光市内のグルメを、お客さまの好みに応じてご提案するなど、各客車でSL観光アテンダントが「地域の魅力」を伝え、お客さまと地域を結ぶ役割を担っていきます。



△SL「大樹」3D記念乗車証

2 SL「大樹」3D記念乗車証の配付について

(1) SL「大樹」各列車での記念乗車証配付について

SL「大樹」1号～6号の各列車に乗車いただいた「証」として、SL観光アテンダントが列車ごとに異なる「SL「大樹」3D記念乗車証」を車内で配付します。

・期間 2017年8月10日(木)～

(2) 「SL「大樹」完全乗車キャンペーン」について

SL「大樹」の運転開始を記念し、異なるSL列車(SL「大樹」1号～6号)の記念乗車証を集めるキャンペーンを実施し、異なる記念乗車証を複数集めていただくと、枚数に応じてSL「大樹」のオリジナルグッズをプレゼントします。

・期間 2017年8月10日(木)～2018年8月9日(木)

・プレゼント内容 ※プレゼントは変更になる場合があります。また、無くなり次第、終了となります。

2列車賞(異なる記念乗車証2枚) 今市報徳二宮神社SL「大樹」御守

4列車賞(異なる記念乗車証4枚) SL「大樹」乗車記念ピンバッジ

完全乗車賞(異なる記念乗車証6枚) 完全乗車証明書付 SL「大樹」完全乗車記念ブック

・交換場所 下今市駅SL展示館・鬼怒川温泉駅ツーリストセンター・東武日光駅ツーリストセンター

※プレゼントの交換時間等、詳しくは当社ホームページをご覧ください。



△2列車賞
(今市報徳二宮神社SL「大樹」御守)



△4列車賞
(SL「大樹」乗車記念ピンバッジ)



△完全乗車賞
(完全乗車証明書付
SL「大樹」完全乗車記念ブック)

3 SL「大樹」車内販売について

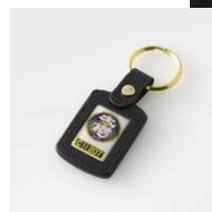
SL「大樹」への乗車記念としていただけるグッズを揃えています。

(1) オリジナルグッズ(一例)

・レザーキーホルダー(車内販売限定) 各800円(税込)

SL「大樹」のロゴが描かれたレザーキーホルダーです。

※ベージュ・ブラックの2種あります。



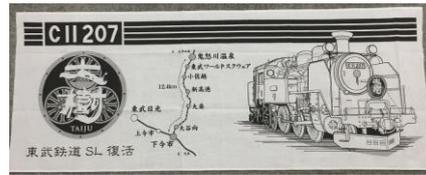
- ・プラバッジ2個セット 600円(税込)

秩父鉄道のSL「パレオエクスプレス」とSL「大樹」の
コラボレーション商品です。



- ・手ぬぐい (SL「大樹」) 700円(税込)

黒の線画でSL「大樹」の車両やヘッドマーク、
路線図が描かれています。



(2) アイス等

- ・SL「大樹」黒いアイス 各300円(税込)

栃木県産の大豆を使用したアイスです。色はいずれも黒ですが、
味は「ごま」「いちご」「バニラ」の3種あります。



- ・SL石炭あられ (SL「大樹」) 650円(税込)

SLに使用される石炭をイメージした真っ黒なあられです。
食用竹炭を使用しています。



4 SL「大樹」車内記念撮影について

SL「大樹」の車内での思い出を記念にさせていただけるよう、
専門のカメラマンによる記念撮影を行います。

オリジナルフォトフレームに入れて販売します。



△記念撮影イメージ

5 下今市駅構内「転車台広場」「SL展示館」について

2017年7月23日(日)より下今市駅構内にSLを間近で見学できる「転車台広場」や、東武線にゆかりのあるSLの写真のほか、SLの動く仕組みをわかりやすくイラスト等で紹介している「SL展示館」をオープンします。「SL展示館」では、お客さまと地域を結ぶSL観光アテンダントが館内のご案内を行います。

- ・営業、開館時間

SL運転日 8:00~19:00

SL運転日以外 10:00~16:30

※入場には、乗車券または下今市駅入場券が必要です。

※なお、転車台広場は2017年8月9日(水)10:00~8月10日(木)15:00まで閉鎖となります。また、SL展示館は8月10日(木)は13時以降の営業・開館となります。

※展示品の入替、および機器保守等により休館となる場合がございます。

(1) 転車台広場について

下今市駅構内に新たに作られた跨線橋から転車台広場へ行くことができます。同広場は、線路、転車台、下今市SL機関庫に面しているため、SL運転日には転車台を使用してのSL関連車両の入換え作業を間近に見ることができます。また、運転日以外には下今市SL機関庫内で点検・準備中のSL「大樹」をガラス越しに見学することができます。随所にレールや枕木を使ったレトロ感のある要素を取り入れ、懐かしい雰囲気味わっていただけるほか、夕方~夜にかけては各所をライトアップします。

(2) S L 展示館について

新たに作られた跨線橋と直結しており、跨線橋部分からS L復活運転プロジェクトの過程を紹介する写真を展示しています。S L展示館は2階建てで、1階には休憩スペース、お客様用トイレ、2階には展示室があります。展示室には、日光・鬼怒川エリアをモデルとしたジオラマを中心に、S Lの車体および運転室の実物大写真、S Lの仕組み解説、東武線がかつて活躍していたS Lの写真など、S Lファンのみならず、初めてS Lに触れる方にもS Lの魅力を伝え、ファンになって頂けるように展示物を揃えています。



△転車台広場



△S L 展示館

6 下今市駅構内の売店について

2017年7月15日(土)に、下今市駅の上りおよび下りホームに昭和レトロ感のある売店をオープンし、駅弁やS L「大樹」オリジナルグッズ等を販売しています。駅弁の一例は下記の通りです。

(1) S L「大樹」 日光埋蔵金弁当
1,350円(税込)

S L「大樹」のコンセプトでもある将軍の持つ印籠をイメージした器と石炭を投炭するスコップをイメージしたスプーンが特徴です。



(2) S L「大樹」日光(HIMITSU)豚弁当
950円(税込)

日光名物の湯波のほか、レンコンで車輪を、玉子でS L「大樹」のナンバープレートをイメージしています。



(3) S L「大樹」懐かしの下今市立ち売り弁当
1,000円(税込)

2015年まで実際に販売されていた下今市名物の立ち売り駅弁を再現しています。



△下今市駅構内売店

蒸気機関車（S L）復活運転の計画概要について

1 運転概要について

- (1) 営業運転開始日 2017年8月10日（木）
- (2) 運転区間 東武鬼怒川線 下今市～鬼怒川温泉間 12.4km
- (3) 停車駅 下今市・東武ワールドスクウェア（新駅）・鬼怒川温泉
- (4) S L 座席指定料金 大人 750円（税込）、小児 380円（税込）※運転区間内一律料金
※別途、乗車区間の運賃が必要です。※各運転日の1か月前から発売
- (5) 2017年度運転日 土休日を中心に98日間運転予定 ※ 赤色日

8月							9月							10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5						1	2	1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
6	7	8	9	10	11	12	3	4	5	6	7	8	9	8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
13	14	15	16	17	18	19	10	11	12	13	14	15	16	15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
20	21	22	23	24	25	26	17	18	19	20	21	22	23	22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
27	28	29	30	31			24	25	26	27	28	29	30	29	30	31					26	27	28	29	30		

12月							1月							2月							3月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
					1	2		1	2	3	4	5	6					1	2	3					1	2	3
3	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13	4	5	6	7	8	9	10	4	5	6	7	8	9	10
10	11	12	13	14	15	16	14	15	16	17	18	19	20	11	12	13	14	15	16	17	11	12	13	14	15	16	17
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	25	26	27	18	19	20	21	22	23	24	18	19	20	21	22	23	24
24	25	26	27	28	29	30	28	29	30	31				25	26	27	28				25	26	27	28	29	30	31
31																											

※運転日、運転内容は変更になる可能性があります。

(6) 運転ダイヤ

午前から夕方にかけて様々な時間帯にS Lを運転することで、周辺のテーマパークや世界遺産である日光の社寺などと合わせ、日光・鬼怒川地区の周遊を楽しんでいただける設定としています。

また、下今市駅を始発駅とするS Lは、浅草駅や東京スカイツリータウン®の最寄駅であるとうきょうスカイツリー駅を出発する新型特急「リバティ」等からの乗り換えが便利であり、当社最新の車両技術を感じていただくとともに、昔ながらの蒸気を使って運転するS Lにも乗車いただくことで、お客さまに「時空を超える旅」を提供します。さらに、鬼怒川温泉駅を始発駅とするS Lは、下今市駅で東武日光方面の列車や浅草方面への特急列車にお乗り換えいただき、日光方面への周遊や都内方面へも便利にご利用いただけます。

鬼怒川温泉行き(下り)							
列車名	乗り換え列車 浅草・JR新宿方面から		乗り換え列車 東武日光方面から		下今市 発時刻	東武ワールド スクウェア 発時刻	鬼怒川温泉 着時刻
SL「大樹」1号	(リバティけごん1号)・(リバティ会津101号) 浅草発 6:30→下今市着 8:11 (リバティけごん3号※) 浅草発 7:00→下今市着 8:46		(普通 新栃木行き) 東武日光発 8:31→下今市着 8:40		9:02	9:32	9:38
SL「大樹」3号	JR新宿発 10:31→下今市着 12:17 (リバティけごん117号)・(リバティ会津117号) 浅草発 11:00→下今市着 12:39 (きぬ127号※)		(普通 新栃木行き) 東武日光発 12:30→下今市着 12:38		13:00	13:30	13:36
SL「大樹」5号	浅草発 14:00→下今市着 15:39 (リバティけごん29号)・(リバティ会津129号) 浅草発 14:30→下今市着 16:09		(普通 新栃木行き) 東武日光発 16:00→下今市着 16:08		16:32	17:02	17:08

下今市行き(上り)					
列車名	鬼怒川温泉 発時刻	東武ワールド スクウェア 発時刻	下今市 着時刻	乗り換え列車 東武日光方面	乗り換え列車 浅草・JR新宿方面
SL「大樹」2号	11:08	11:13	11:41	(急行 東武日光行き) 下今市発 11:57→東武日光着 12:04	(けごん26号※) 下今市発 12:05→浅草着 13:45 (リバティけごん28号)・(リバティ会津128号) 下今市発 12:35→浅草着 14:15
SL「大樹」4号	14:35	14:41	15:09	(普通 東武日光行き) 下今市発 15:22→東武日光着 15:31	(スペースきぬがわ6号) 下今市発 15:28→JR新宿着 17:19 (けごん36号) 下今市発 15:33→浅草着 17:15
SL「大樹」6号	18:09	18:15	18:43	(普通 東武日光行き) 下今市発 19:23→東武日光着 19:32	(きぬ146号) 下今市発 18:57→浅草着 20:45 (リバティけごん48号)・(リバティ会津148号) 下今市発 19:30→浅草着 21:15

※土休日のみの運転

2 車両について

鉄道産業文化遺産の保存・活用ならびに栃木・福島エリアの支援活性化という本事業の目的にご賛同いただいた全国の鉄道会社からのご支援・ご協力を得て、かつてSL運転に使われていた時代の車両を貸与・譲渡いただき、運転します。なお、SLの借受および車掌車・客車の譲受は、車両等の産業文化遺産の保存実績のある東武博物館が行い、ディーゼル機関車（DL）の譲受は東武鉄道が行います。

名称	車号	両数	借受元・譲受元
SL	C11-207（2016年8月19日受入済）	1両	JR北海道
車掌車	ヨ8634（2016年6月11日受入済）	1両	JR貨物
	ヨ8709（2016年6月25日受入済）	1両	JR西日本
客車	スハフ14-1、スハフ14-5、オハフ15-1、 オハ14-1、オロ12-5、オロ12-10 （2016年10月4日、5日受入済）	6両	JR四国
DL	DE10-1099（2016年12月23日受入済）	1両	JR東日本

SLの編成予定図 ←進行方向 S L + 車掌車 + 客車1 + 客車2 + 客車3 + D L

※客車の座席定員数は、約200席を予定。

◆客車のリニューアルについて

JR四国から客車を譲り受けましたが、SL復活運転プロジェクトの目的の一つである「鉄道産業文化遺産の保存・活用」を実現すべく、新製当時のデザインに極力近づけたリニューアル（座席シート・カーテン等）を行い、お客さまに快適にご利用いただける車両としています。



△SL運転で使用する客車

◆下今市～鬼怒川温泉間で運転するSLの列車名称 SL「大樹」について

「大樹」は、世界遺産「日光の社寺」の一つである日光東照宮から連想される「將軍」の別称・尊称と言われており、また、自立式電波塔として世界一の高さを誇る「東京スカイツリー®」を想起させることから、沿線とともに力強く大きく育ってほしいとの思いを込めています。

◆SLのヘッドマークデザインについて

ヘッドマークデザインについては、C11形らしく3つの「動輪」を表現したものに、「大樹」の文字を重ねました。

3つの動輪は、今回のプロジェクトの目的が、①鉄道産業文化遺産の保存と活用、②日光・鬼怒川エリアの活性化、③東北復興支援の一助の3つであることに加えて、日光・鬼怒川温泉・今市の3つのエリアが互いに連動し、地域の回遊性が向上してほしいという思いや「大樹」の由来のひとつである「東京スカイツリー」の足元が三本柱であるといった意味を込めています。



△SL「大樹」
ヘッドマークデザイン

3 施設について

(1) 転車台

J R西日本が所有していた下記転車台を譲渡いただき、2017年3月に設置しました。

名称	旧設置場所	譲受元	設置場所
長門市駅転車台	山口県 長門市	J R西日本	下今市駅 (栃木県 日光市)
三次駅転車台	広島県 三次市		鬼怒川温泉駅 (栃木県 日光市)



△下今市駅構内の転車台



△鬼怒川温泉駅構内の転車台

(2) 南栗橋S L 検修庫の新設

2016年7月、S Lの各種検査を行う検修庫を南栗橋車両管区 (埼玉県久喜市) に新設しました。

(3) 下今市駅舎改修および下今市S L 機関庫の整備

S Lの発着の拠点となる下今市駅は全面的に改修を行い、かつてS Lが走っていた時代を彷彿とさせる昭和レトロ感のある駅舎に2017年7月、生まれ変わりました。また、2017年3月に、S Lの日常の点検等を行う下今市S L機関庫を新設しました。



△下今市駅のリニューアル



△下今市S L機関庫

4 検修および乗務要員養成について

検修および乗務要員の養成については、J R北海道、秩父鉄道、大井川鐵道、真岡鐵道に協力をいただき、教育・習熟訓練を進めています。

5 新制服の導入について

S L「大樹」の運転開始に合わせ、2017年8月10日 (木) より日光・鬼怒川地区限定で着用する新制服を導入します。「昭和レトロ・ノスタルジー」を基本コンセプトとし、駅・車掌関係の従業員が着用する新制服は、基本コンセプトに加え高級感をイメージさせる黒色や金色でデザイン、機関士等の従業員が着用する新制服は、S L従事者の作業着として親しみのある「ナツパ服」をベースに、当社社紋を配することでオリジナリティを表現、車両整備等の従業員が着用する新制服は、耐火性や動きやすさを重視したものとなっています。



△新制服 (左から駅・車掌関係、機関士等、車両整備等従業員用)